

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Serve to Change Lives



地域から行動で新しい変化を

RI会長 シェカール・メータ

2021~2022

富津中央RC会長 神子 勝美

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2661 第14回例会 2021.12.9 晴

点 鐘：神子勝美 会長

進 行：栗原典子 副SAA

ソング：それでこそロータリー

お客様：第5グループガバナー補佐 鈴木荘一様

### 会長挨拶

神子勝美 会長



ご安全に！！寒くなってまいりました。朝布団から出るのがおっくうになってなかなか布団から出るのが辛くなってきました。

本日は、鈴木ガバナー補佐をお迎えしております。よろしく願いいたします。

1941年12月8日は太平洋戦争開戦の日で、あれから80年が経(た)ちました。私は、戦争を知らない時代に生まれ平和な時代を過ごしてこられたのも、先人の戦争で失われた尊い命のおかげだと思っています。三枝会員の「戦後70年を迎えて」を読ませてもらい、一部内容を紹介します。

国家の存亡をかけた自存自衛の戦いであった。結果から言えば、隠忍自重して中国から撤兵すれ

ばよかったのだが、それは結果論で当時としてはとても無理だった。初戦の勝利のために早く戦争を終わらせる計画が立たず、最後にソ連の仲介を当てにして裏切られたのは情報不足、外交の稚拙としか言いようがない。

一方戦争は、大本営と現場の戦闘部隊との連携が悪く、正確な情報・確実な補給が行われればこれほどみじめに負けなかったかもしれない。現場の将兵は実に精強で、指揮官も優秀であった。敗れたとはいえ、硫黄島の栗林、ペリリュー島の中川、インパールの宮崎等はよく兵をまとめて善戦した。

結局、中央に人材が乏しく計画が杜撰(ずさん)だったため、多くの犠牲を出したことは厳しく反省しなければならなかった。陸軍と海軍との協力も充分とはいえず、此所にも問題が残った。コミュニケーションと情報の共有は非常に大事だと感じました。

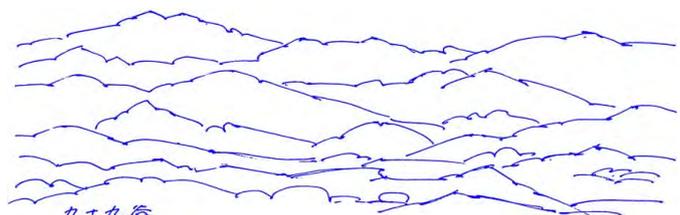
### お客様挨拶

第5グループガバナー補佐 鈴木荘一様



いつもお世話になっております、鈴木荘一です。

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3  
いち川旅館  
Ichikawa ryokan  
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,  
293-0043  
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



先日のガバナー公式訪問では大変お世話になりました、12/2日の木更津ロータリークラブのガバナー公式訪問にてグループ全てのガバナー公式訪問を終了することが出来ました。ご協力頂きました会長幹事はじめ会員皆様に心より感謝申し上げます。私もおかげ様で半期を終えることが出来ました。3月1日には会員基盤向上セミナーもあります、引き続きよろしくお願いいたします。少し早い時期ではありますが今年1年お世話になったことを感謝申し上げますと共に年末年始皆様におかれましてもお身体ご自愛されお過ごし頂き、来る新年が素晴らしい年になることをご祈念いたしまして整いませんがご挨拶とします。

## 幹事報告

岡田良弘 幹事



1. 佐倉中央ロータリークラブ事務局員交代回覧。
2. ガバナー事務所年末年始休業の案内回覧。
3. RLIパート1の開催案内書回覧。
4. ロータリー研修委員会より案内回覧。
5. 国際ロータリー2021年度決議審議会決定報告書。

## 卓話 『人獣共通感染症』

山下 厚 会員



皆さんこんにちは。本日はこのような機会を与えていただきましてありがとうございます。今回卓話のテ

ーマに選んだのは「人獣共通感染症」です。

皆さんはこの人獣共通感染症という言葉を知っていますか。人獣共通感染症とは教科書的には、ヒトとそれ以外の脊椎動物の両方に感染、または寄生する病原体により生じる感染症のことです。まさにいま世界を混乱に陥れている新型コロナウイルス感染症も動物も発症することが報告されていますから人獣共通感染症です。そもそも、私が学生の頃は人獣共通感染症という言葉はなくて、学んだのは人畜共通感染症という学術用語だったように思います。どうして言葉が変えられたのか、調べてみました。「以前は人畜共通感染症または人畜共通伝染病という呼称が一般的であったが、「畜」という語が家畜のみを想起するのに対して、近年は愛玩動物(ペット)や野生生物からの感染が重大な問題になっているという指摘がある。これらを考慮して、人獣共通感染症という言葉を用いようとする動きがあり、この呼称が定着しつつある。ただし、「獣」とは本来なら哺乳類など体毛で被われた動物を指す言葉であり、オウム病や鳥インフルエンザなど鳥類由来の感染症や、爬虫類由来のサルモネラ感染症、昆虫類や魚類由来の寄生虫疾患等も包含する語としては「畜」より適切とは必ずしも言えない。いずれにしても、どの語を用いるべきかについては未だ議論の分かれるところであり、統一されるまでは至っていない。なお、厚生労働省はヒトへの感染経路を重視する観点から動物由来感染症という呼称を使っている。これに対して獣医学の立場からは、「動物は汚いもの」という意識を必要以上に広く植え付けるだけでなく、ヒトから動物への感染(ヒト由来感染症)による動物への被害という問題もあるため不適切ではないかということも指摘されている。特にヒト由来の抗生物質耐性菌による動物への被害を問題視する意見もある」。(この項、ウィキペディアを参照する)

厚生労働省のHPでは、動物由来感染症という言葉を使っており、まだ人獣共通感染症という呼称は学問的、あるいは法律的に統一されてはいないようです。人畜共通感染症、人獣共通感染症、動物由来感染症のいずれにしろ英語ではズーノーシス(Zoonosis)で統一されています。つまり、感染症を取り巻く状況の変化、学問上の業績の蓄積等によりわが

国ではズーノーシスの訳語が変遷しているということです。動物由来感染症はWHO(世界保健機構)に確認されているものだけで約150種類あるそうです。更にこれは全ての感染症のうちの約50%を占めるそうです。ここで動物と言うのは、ウシや豚、鶏、イヌ、ネコ等だけではなく、蚊、ダニ、ペストを媒介するノミ、それにシラミ等も含まれます。

細菌類、動物、植物を含めて生物は大きく分類されます。中学校時代に理科で**界門綱目科属種**という生物分類の仕方を習ったと思いますが、現生人類のヒトは**動物界、脊索動物門、哺乳綱、サル目、ヒト科、ヒト属、サピエンス種**となります。蚊やダニもヒトと同じ動物界で、関節動物門に分類されるようです。実はこの蚊やダニが引き起こす、注意しなければならぬ病気はたくさんあります。毎年世界で3億人が感染し、50万人が死亡すると言われる、未だ予防法が確立されていないマラリアはハマダラカ蚊によって引き起こされる感染症です。サルなどの動物も感染しヒトと同じような症状を出すことが分かっていますので、マラリアも人獣共通感染症です。

私があとでお話する**SFTS(severe fever with thrombocytopenia syndrome:重症熱性血小板減少症候群)**はマダニというどこにでもいるダニによって引き起こされる感染症です。厚生労働省のHPにある「動物由来感染症ハンドブック2021」には動物由来感染症の事例に結核が記載されていません。これには私は驚いてしまいました。「牛乳はウシから搾ったものをそのまま飲むことは禁じられています。滅菌消毒が必要です。これに対しヤギの乳はそのまま無殺菌でも飲むことが出来ます。なぜでしょうか。ヒトの結核はヒト結核菌(*Mycobacterium tuberculosis*)だけではなくウシ結核菌(*Mycobacterium bovis*)によっても引き起こされます。その逆もあります。ですから、牛乳を滅菌消毒する必要があるのは結核菌を殺菌しなければならないからです。牛乳を殺菌することを知らない時代には結核に感染した牛の牛乳から結核に感染するヒトも多かったようです。牛乳の殺菌方法は法律(**乳等省令**)で「保持式により63℃で30分間加熱殺菌するか、またはこれと同等以上の殺菌効果を有する方法で加熱殺菌すること」と定められています。低温保持殺菌(63℃

30分)やマザー牧場が採用している高温保持殺菌(75℃15秒)、今一般的な超高温瞬間殺菌(130℃、2秒など)がありますが、100℃以下での牛乳を含めたワイン、清等食品の殺菌法を、この殺菌法を考え出したパスツールに因んでパスチュライゼーションと言います。この方法の優れているところは特定の病原菌は殺すが、有益な菌は生かすことが出来るということです。牛乳では今では結核菌を殺すことが目的だったことはすっかり忘れ去られ、その風味、栄養分を損なわない滅菌・消毒法としてこのパスチュライゼーションが取り上げられることが一般的になっています。しかし、今でも乳牛は定期的に結核のサーベランス事業を行っています。結核菌に感染している乳牛が見つければ即刻殺処分になります。しかし今では全国的にほとんど見つかりません。昭和25年、わが国の死亡原因のトップは結核でした。この年には**12万1769**人が結核で亡くなっています。それが昨年2020年には**1909**人まで減っています。死亡原因としては30位です。しかし新規感染者は依然として**12739**人もいるのです(厚生労働省のHPより)。先に厚生労働省のHPに牛乳から感染する結核の事が抜け落ちている、と申し上げましたが、もう長い間、牛乳からヒトに感染した結核の事例がなくなったということだと思います。しかし世界に目を向けると毎年1000万人ほどが新規感染し、150万人ほどが亡くなっています(日本WHO協会HPより)。獣医師の立場としては、ウシからヒトへの結核感染を防ぐ予防措置は今後とも怠って欲しくないと願っています。因みにいま結核予防ワクチンBCGにはウシ結核菌(*Mycobacterium bovis*)の病原性を弱くした弱毒株が使われているそうです。皆様方もウシ結核菌で作ったワクチンを接種なさっているはずですが。話は逸れますが、ワクチンの語源も実はラテン語のウシを意味するVaccaだそうです。皆様方も私と同じで、ウシと無関係には生きていけないのです。

次に取り上げるズーノーシス(Zoonosis)、動物由来感染症は狂犬病です。わが国では1956(昭和31)年のヒトと犬、1957(昭和32)年のネコの発生を最後に、狂犬病は発生していません。近年のわが国の発生事例は4、5例あったと思いますが、全て外国で感染してわが国に帰国後発症したという事例です。

わが国でこそ撲滅されていますが、狂犬病は世界では依然として年間5万人が死亡している感染症です。ワクチンで防ぐことが出来る病気ですが、発症すると99.99%が死亡するという怖い病気です。インドでは年間3万人、中国でも3000人ほどが今でも亡くなっているそうです。わが国だけではなく、世界の発症事例の患者さんの病状はyou tubeで見ることが出来ます。わが国の事例では戦後すぐの頃、東京大学伝染病研究所に入院した5歳の少年の映像が残されています。外国の事例を併せて見ても、この病気がいかに悲惨な病気であるかということが分かります。狂犬病は全ての哺乳類が感染する脳がおかされるウイルス性感染症です。特にイヌが発症すると興奮型のタイプは狂暴になって、やたらに噛みつくようになるそうです。「アメリカでも今も毎年数人のヒトの患者が出ています。アライグマ、スカンク、こうもり等の野生動物では6000件から8000件、ネコで200~300件、イヌで20~30件発生している」そうです(ウイキペディアより)。狂犬病は感染から発症までの期間が、短いもので2週間、長いものだと2年間もあるそうです。感染していても潜伏期間内であることもありますから、皆様方が外国に行った際、街角で出会ったイヌやネコ等を可愛いからといって、気軽に触ることは決してやってはいけないことです。このことを守るだけで、海外で狂犬病に感染して、持ち帰って帰国後発症するという事例はなくなるものと思います。

今日、殊に愛犬家から、狂犬病ワクチン接種はやる必要はないのでは、というような批判が聞こえることがあります。しかし、わが国に寄港する狂犬病が蔓延している国の貨物船からのペット犬が陸上に逃走してしまう事例もあるようです。60年以上も発生していない感染症に対しての予防ワクチンは無駄ではないか、との批判は当然だと思いますが、差しあたっては一見無駄と思えるような準備こそが時に必要ということが、今回のコロナ禍ではっきりした部分もあるかと思っています。ヒトも動物を含めた物も、瞬時にして世界中を行き交う時代ですから、狂犬病のワクチン接種は今後も続けるべきだと私は考えています。もし、わが国に狂犬病が入り、この辺りでも見かけるようになった野生動物のアライグマなどに感染してしま

うと、大変な騒ぎになると思います。先にも申し上げましたが、アメリカではアライグマは狂犬病ウイルスに感染している事例が珍しくないそうです。

最後に SFTS (severe fever with thrombocytopenia syndrome : 重症熱性血小板減少症候群) を取り上げます。皆様方の中にはこの病名を始めて聞く方もいらっしゃると思います。「この感染症が世界で初めて知られたのは 2011 (平成 23) 年です。中国での発生事例でした。わが国で初めて知られたのは 2013 (平成 25) 年です。2013 年 1 月に報告された最初の患者は山口県の方で 2012 年秋に発症した 50 代の女性で、原因不明のまま死亡した。後に保存検体の検査により SFTSV の [ゲノム](#) とウイルス [抗原](#) が確認され重症熱性血小板減少症候群と確定した。この事例を元に [厚生労働省](#) は「疑い患者要件」を公表して全国に情報提供を求めた」(ウイキペディアより)。

厚生労働省が呼びかけた情報提供により、遡って死因不明の患者の保存サンプルから、この感染症が 2005 (平成 16) 年には既にわが国に入っていたことが判明しています。

私は定年退職直後、千葉県の家畜保健所に委託されて野生動物のモニターをやっていたのですが、その当時から SFTS のことは話題に上がっていました。当初は西日本に限定した感染症だと思われていたのですが、次第にその分布域が広がり、関東の野生動物にも SFTS の感染を示す抗体価が上がっているものが確認されるようになりました。そして遂に千葉県でもヒトの発生事例が報告されています。発表されたのは今年ですが、発症は 4 年前だったようです。今はペットの犬や猫からヒトに感染したのではないかと思われる事例も報告されています。

NIID ( national insutitute infectious DI SEASES ) 国立感染症研究所の発表では、表 1 に示すように

表1. 基本情報 (2021年7月28日現在)

|      | 生存例  | 死亡例    | 合計   |
|------|------|--------|------|
| 報告数  | 561  | 80     | 641  |
| 性別   |      |        |      |
| 男    | 271  | 44     | 315  |
| 女    | 290  | 36     | 326  |
| 年齢   |      |        |      |
| 中央値  | 73 歳 | 81.5 歳 | 74 歳 |
| ~20代 | 7    | 0      | 7    |
| 30代  | 9    | 0      | 9    |
| 40代  | 14   | 0      | 14   |
| 50代  | 40   | 3      | 43   |
| 60代  | 141  | 11     | 152  |
| 70代  | 186  | 23     | 209  |
| 80代  | 141  | 35     | 176  |
| 90代~ | 23   | 8      | 31   |

③ 死亡数は感染症発生動向調査の届出時点での情報であることから、正確な死亡数及び算出される致命率は高い可能性がある。また自治体による公表情報とは異なる場合がある。

わが国では今年の7月28日までの8年間で641人が発症し、80人が亡くなっています。致死率は14.3%です。高齢になるほど致死率が高くなっています。ここにいらっしゃる皆様方の平均年齢も高くなっていますから、ダニには十分注意していただきたいと思います。畑仕事をする際、あるいは山遊び、山仕事をする際に出来る限り肌を出さない服装をすることである程度は防げると思います。ダニ除けのスプレーも市販されています。

SFTSの原因はSFTSウイルスです。ダニに刺されることで発症しても適切な抗生剤によって治癒するツツガムシ病、日本紅斑熱とちがって、SFTSには決め手になるような治療法は確立されていないようです。

Zoonosis、動物由来感染症にはまだまだ重要なものがたくさんあります。例えば近年ヒトの食中毒の原因になるサルモネラ菌。私が子供の頃は腸チフスと言われていたサルモネラ感染症は、鶏の卵が原因となることが多かったのですが、養鶏業界が鶏卵の低温流通に取り組んだことが功を奏して、近年は激減しています。しかし、同じく鶏ですが卵ではなく肉が原因となることが多いカンピロバクターに因る食中毒は高止まりの状態が続いています。近年は食中毒の原因としてノロウイルスと双璧をなしています。多くが鶏の肉を十分に焼かないで、生焼けのものを食べるのが原因です。

この食中毒は通常は下痢や腹痛が主な症状だそうですが、時に神経性難病のギランバレー症候群を引き起こすことがあるそうです。往年の美人女優大原麗子さんがこの難病を患っていたことで一般的に知られるようになった病気です。カンピロバクター食中毒患者の0.1~0.2%の方がギランバレー症候群を発症するものと考え、毎年20人から30人ほどがわが国ではチキンの生焼けでギランバレー症候群を発症しているということになります。

ヒトの生活は動物なくしては成り立ちません。私は蚊やダニと上手に付き合う方法は知りませんが、他の動物・生き物とは上手に付き合う方法を模索しながら楽しい人生を送れるよう工夫したいと考えています。皆様方の生活にウシからミツバチまでをふくめた動

物からのお恵みが多きことをお祈りいたしまして私の卓話を終えたいと思います。ご清聴、ありがとうございました。

## 委員会報告

平野安照 青少年奉仕担当部長



### ①子供食堂について

12月3日(金)17時30分より、中央公民館で行われた子供食堂に参加しました。神子会長、栗原奉仕プロジェクト委員長、平野会員、相川会員、飯島会員の5名で参加し、当クラブからのクリスマスプレゼントや、お弁当等各種協賛品の配布に協力しました。子供達や保護者の方から、沢山の笑顔を受けました。



②第39回富津市RC旗争奪少年野球大会について

12月5日(日)に富津市臨海野球場で、第39回富津市RC旗争奪少年野球大会が開催されました。開会式に、神子会長、岡田幹事、平野会員の3名で参加しました。当日は天候にも恵まれ、子供達が練習を重ねてきた成果を発揮出来るように、神子会長から元気の出るご挨拶を賜りました。参加チームは4チームと、少々寂しい気もしますが、野球を通じてチームワークを学び、将来に活かしてくれたらと思います。尚、決勝戦及び3位決定戦は、12月12日(日)に同会場で行われます。



慶事

12月12日朝日俳壇二席入選

『秋風や もう語ること なきわかれ』

富津市 三枝一雄

ニコニコBOX

朝月真次郎 親睦担当部員



鈴木壮一 AG 例会に参加させ頂き。

\*神子会長 鈴木ガバナー補佐をお迎えして。

\*岡田幹事 // 結婚祝いをいただいて。

白石幸久 // 山下会員卓話を聴いて。

山下 厚 卓話をお聴き頂き有難う御座います。

三枝一雄 会長挨拶で自書「戦後70年を迎えて」  
を取り上げて頂き有難い。

『水軍の 大尉となりて わが四郎 みいくさ  
に征く 猛く戦へ』 与謝野晶子

※訂正 前週三枝会員の句を編集誤記

正しくは『冬の水 使う心得 あれこれと』  
若鍋武良 白石廣元会員のご逝去を悼みて。

出席報告

若鍋武良 出席担当部員

| 区分  | 会員数   | 出席 | 欠席 | MUp | 出席率    |
|-----|-------|----|----|-----|--------|
| 今回  | 34/31 | 21 | 10 |     | 67.74% |
| 前回  | 34/30 | 21 | 9  |     | 70.00% |
| 前々回 | 34/32 | 24 | 8  |     | 75.00% |

